



平成26年11月21日

第56回日本小児血液・がん学会学術集会を開催

“Domestic から Global へ～break through を求めて”

2014年11月28～30日に、「第56回日本小児血液・がん学会学術集会」を開催します。欧米から世界の小児血液・がん医療のトップを招き、子どもの難治性血液疾患やがんについて、実情と問題点を考えます。また、アジアを重視し、日韓交流セッションを企画。韓国の小児血液・がん学会と学術的交流を誓う交流文書に調印します

29日朝のチャリティマラソンには、岡山を代表するアスリートである有森裕子さんも参加します。

第56回日本小児血液・がん学会学術集会

テーマ： Domestic から Global へ～break through を求めて

会期： 平成26年11月28日（金）～30日（日）

会場： 岡山コンベンションセンター
岡山シティミュージアム

会長： 岡山大学病院小児血液・腫瘍科／保健学研究科 教授 小田 慈

子どもにもがんは存在します。昨今、子どもの難治性血液疾患、がんに対する国民的な関心が高まり、国の進めるがん対策推進の重点的な課題の一つに小児がん対策が取り込まれ、診療施設網の整備が進んでいます。

本学会が、より高度で専門的かつ良質な小児の血液疾患、腫瘍性疾患に対する診療体制を構築することを目指して取り組んでいる小児血液・がん専門医制度は、2011年1月から研修がスタート。今年10月に第一回の専門医認定試験が行われ、11月には、正式な小児血液・がん専門医が誕生します。

「第56回日本小児血液・がん学会学術集会」 “Domestic から Global へ～break through を求めて” では、28日～30日、特別講演、招聘講演に加え、メインテーマに沿った国際シンポジウムや機能温存・晩期障害などの重要な課題領域に関するシンポジウムを行います。29日（土）午後には、韓国小児血液・がん学会と日本小児血液・がん学会の交流セッションを設け、この中で今後の両学会の学術的交流を誓う交流文書の調印式も開催されます。

チャリティマラソンは、29日朝、がんの子どもを守る会との共同で開催。岡山を代表するアスリートである有森裕子さんが参加し、岡山市中心部の岡山城、後楽園沿いのコースを走ります。



岡山大学
OKAYAMA UNIV.

PRESS RELEASE

合同開催： 第12回日本小児がん看護学会

会長：岡山大学大学院保健学研究科 教授 猪下 光

共同開催： 第19回公益財団法人がんの子どもを守る会公開シンポジウム

会長：公益財団法人 がんの子どもを守る会 理事長 山下 公輔

<お問い合わせ先>

岡山大学病院小児血液・腫瘍科／大学院保健学研究科

教授 小田 慈

(電話番号) 086-235-6901

(FAX番号) 086-235-6901